

地区・地域社協役員研修会

～ふれあい、支えあい、助け合う お互いさまの地域づくりを目指して～



研修期間 令和3年7月1日（木）～7月30日（金）

受講方法 Youtubeによる動画研修

主催 伊那市社会福祉協議会

後援 伊那市

伊那市の地域課題等について

対談者:伊那市 福祉相談課 相談支援係長 木ノ嶋志津子氏
伊那市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 原 智美

※映像の中の用語説明やポイント(○は用語説明、☆はポイント)

○相談支援系の相談内容

地域包括支援センターの機能をもち、高齢者の介護、健康、医療、権利擁護の相談について、専門職が互いに協力しながら「チーム」として総合的に高齢者を支える支援をしている。障害者虐待防止センター機能を果たし、相談対応を行っている。

スタッフの職種は、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士・介護支援専門員など。

○8050問題

子どもが病気を抱えていたり、引きこもり状態が長期化して中高年となる一方、生活を支えてきた親も高齢化により収入が途絶えたり、病気や要介護状態になったりして家族が経済的に孤立したり、困りごとが複雑になる問題。

○新福祉まちづくりセンター ふれあい～な 相談対応

〈高齢者・生活困窮などに関する総合相談窓口〉

保健福祉の専門職が高齢者・生活困窮などのご相談に応じている

例えばこんな困りごと…

- ・最近親の物忘れが進んだ
- ・介護が大変だがどうしていいかわからない
- ・介護サービスを受けたい
- ・新型コロナウイルスの影響で失業、生活が苦しいなど

☆昨年コロナ禍により相談内容の変化

- ・金銭的に困っている相談の増加
- ・高齢者の虐待相談の件数の増加
- ・認知症状がある方の介護・医療に関する相談は継続

☆地域で大切なこと

- ・近所の方による見守り、声かけ
- ・ちょっとしたお手伝い

令和3年度 地区・地域社協役員研修会開催要綱

1 趣旨

みなさんの住んでいる地域では、ちょっとした助け合い、つながりを感じることはありますか。少子高齢・人口減少が進んでいる中、年を重ねても安心して地域で暮らし続けるために、伊那市社会福祉協議会は助け合い、つながり合える場の大切さを伝え、地区・地域社会福祉協議会の皆さんと共に活動を進めてきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策のため、人との距離を保つことが求められ、そのことによって地区・地域社協の活動は中止せざるを得ず、つながりは薄れ、また孤立、生活困窮等、課題は顕在化してきています。このように変化してきている地域現状の中で、地区・地域社協の活動の見直しが求められています。

今後も、安心して暮らし続けられることを目指し、より一層皆様と連携し、取り組んでいくために、今回の研修会では、地域福祉の現状、感染症対策を講じながらの活動を知り、工夫しながら活動することを目的に本研修を開催します。

感染症対策のため、会場を複数に分け、研修と同じ内容を動画配信で見ることができるようになっています。

2 主催 社会福祉法人 伊那市社会福祉協議会

3 後援 伊那市

4 対象者 地区・地域社協役員（民生児童委員）

5 日程及び内容

13:00	受付
13:30	開会
13:35～13:50	社会福祉協議会のこれまでの取り組み（伊那市社会福祉協議会）
13:50～14:10	伊那市の地域課題等について（伊那市福祉相談課）
14:10～14:20	これから求められる地区・地域社協の役割
14:20～14:25	感染症対策への考え
14:35～14:45	取り組み事例発表
14:45～14:50	地域福祉推進事業の申請手続き等について
	質問・意見
15:00	閉会